## Symfony4とAPI Platformを使って5分でAPIサー バを作る

PHP Symfony Symfony4 API-Platform

この記事は最終更新日から3年以上が経過しています。

API PlatformはオープンソースのAPIフレームワークです。
Symfony上で動作し、ちょっとした設定で簡単にAPIサーバを構築することができます。ここではSymfony4とAPI PlatformでAPIサーバを構築する手順をご紹介します。タイトルの通り、サクッと5分ほどで構築できます。

## 1-2分:インストール

インストールはcomposerを利用します。APIサーバを構築するだけであればapiのみで必要なものは全てインストールできますが、ここでは動作確認用と作業効率向上のため、makerとserverを追加でインストールしています。

もろもろインストール

# Symfony4プロジェクトを作成

composer create-project symfony/skeleton symfony4-api-sample
cd symfony4-api-sample

# API Platformフレームワークインストール

composer req api

# Entityをコマンドラインから作成するためにmakerをインストール

composer req maker

# 動作確認用のサーバコマンドをインストール

composer req server --dev

### 3分: DB設定

今回はSQLiteを利用しました。ので、.envをちょっと修正します。

.env

###> doctrine/doctrine-bundle ###

# Format described at http://docs.doctrine-project.org/project

# For an SQLite database, use: "sqlite:///kernel.project\_dir%

# Configure your db driver and server\_version in config/package

- DATABASE\_URL=mysql://db\_user:db\_password@127.0.0.1:3306/db\_nates.

+ DATABASE\_URL=sqlite:///kernel.project\_dir%/var/data.db

###< doctrine/doctrine-bundle ###</pre>

### 修正後、DBを作成します。

DB作成

bin/console doctrine:database:create

# 4分: Entity作成

今回はProductというEntityを作成しました。フィールドは

- name(string)
- price(integer)
- isAvailable(bool)

#### を用意しました。

Entity作成

bin/console make:entity

Class name of the entity to create or update (e.g. OrangeChef > Product

created: src/Entity/Product.php

created: src/Repository/ProductRepository.php

Next: When you're ready, create a migration with make:migratic

### 作成したEntityにAnnotationを追加します。

Product.php

```
<?php
```

```
namespace App\Entity;

use Doctrine\ORM\Mapping as ORM;
+ use ApiPlatform\Core\Annotation\ApiResource;

/**
   * @ORM\Entity(repositoryClass="App\Repository\ProductReposito")
+   * @ApiResource
   */
class Product
```

### 作成したEntityを利用してDBにテーブルを作成しましょう。

テーブル作成

bin/console doctrine:schema:create

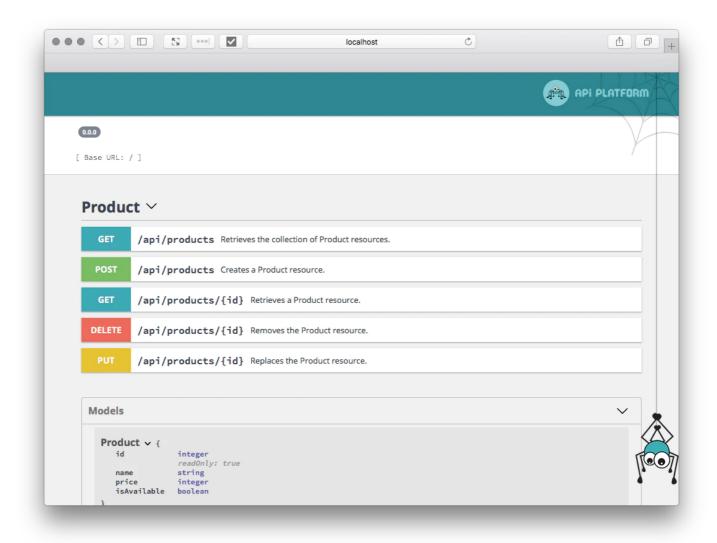
## 5分: 実行

これでProductのデータを制御するAPI群が完成しました。実際に動かしてみましょう。

サーバ起動

bin/console server:run

http://localhost:8000/api にアクセスすると...

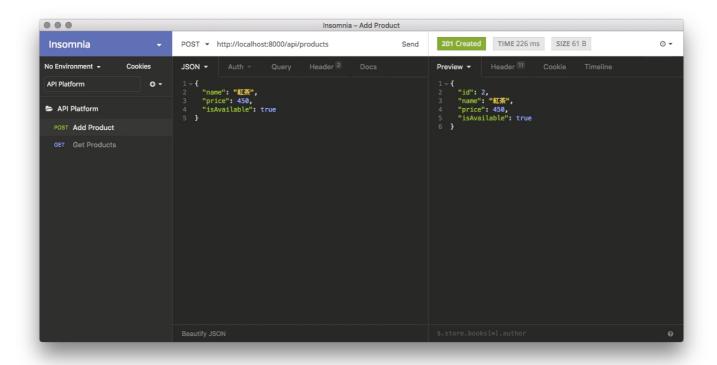


できました!Productを制御するためのAPIのリストと利用方法を記載したページができあがりました。では、実際にAPIを実行してみましょう。ここでは登録とリスト取得を実行してみます。

curlで登録

```
curl --request POST \
    --url http://localhost:8000/api/products \
```

```
--header 'accept: application/json' \
  --header 'content-type: application/json' \
  --data '{
    "name": "紅茶",
    "price": 450,
    "isAvailable": true
}'
response
{
    "id": 2,
    "name": "紅茶",
    "price": 450,
    "isAvailable": true
}
```



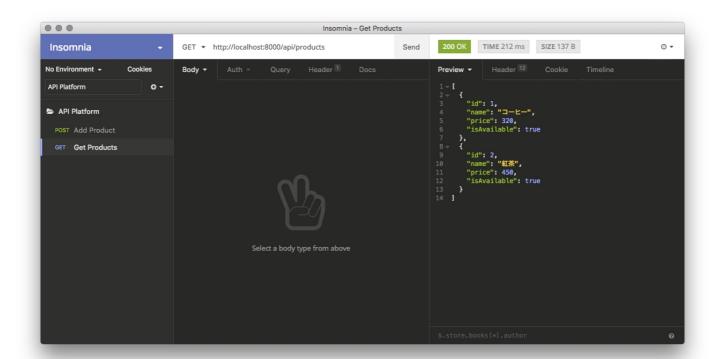
### curlでリスト取得

```
curl --request GET \
   --url http://localhost:8000/api/products \
   --header 'accept: application/json'
```

### response

```
[
          "id": 1,
          "name": "¬-Ŀ-",
          "price": 320,
          "isAvailable": true
},
```

```
{
    "id": 2,
    "name": "紅茶",
    "price": 450,
    "isAvailable": true
}
```



# まとめ

こんな感じでサクッとAPIサーバが構築できます。設定などでOAuth2を仕込んだりバリデーションを設定したりなどカスタマイズできるので、ぜひ一度お試しください。ここまでのプロジェクトをGitHubに用意しましたので、こちらもご覧ください。

https://github.com/lppey/symfony4-api-sample